

**製品名: ATG10 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00185**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATG10
別名	autophagy related 10; APG10; APG10L; pp12616
遺伝子 ID	83734
SwissProt ID	Q9H0Y0
免疫原	ヒト ATG10 の合成ペプチド

**背景**

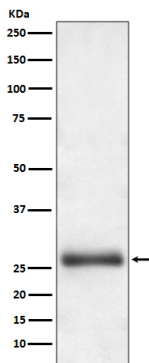
オートファジーに関与する E2 様酵素。ATG12 と ATG5 の結合を触媒する E2 様酵素として作用する。ATG12 と ATG5 の結合はオー

トファジーに必須である。ATG5 認識分子として機能する可能性が高い。ATG12 と ATG3 の結合には関与しない（類似性に基づく）。アデノウイルス媒介性細胞溶解において役割を果たす。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



ATG10 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Apg10 (Atg10) のウエスタン ブロット分析。